



# よこはま プロバス通信

No15 2015年2月発行

<http://yokohama1probus.web.fc2.com/TR3.html> ユーチューブチャンネル

probusyokohama

情報委員会・編集委員

情報委員会所在地：横須賀市湘南鷹

取 1丁目32番14号 電話045-865

-1329 2015年(平成27年)2月13

日発行

## 新春例会 (第157回)

平成27年1月9日 関内相生会館 24名参加

### 会長挨拶



中村 實氏

新しい年を迎えるということは、我々にとって一つの区切りとして、とても大切な時ではないかと思えます。一年の計は元旦にありと昔から申しますが、皆さん方も一年の計画を立てられたことでしょうか。届いた年賀状を拝見すると我々の世代を反映して、とにかく健康がメインとの葉書が多かった。昨年、青木実行委員長のもとで行われた全国大会は、とても上手くいったと、全国からお褒めの言葉をいただいています。今年は我がプロバス倶楽部も15周年なので、お祝いをしたいと考えています。

謡 曲 松田和会員が初春を祝して恒例の謡「鶴亀」を披露。 一同静聴。

乾 杯 今年90歳を迎える乙幡重治会員が乾杯の発声。 一同唱和。

誕生月祝い品贈呈 (1月誕生) 松田和、岡賢治、青木伊平、小磯智功、松下尚雄 各氏  
(1月の該当者5名が全員出席。前回欠席した12月誕生の岡部正久氏にお祝い品贈呈)

### 新春恒例会員2分間スピーチ (要約)

食事を摂りながら、今日の着席順で話し始めた。アルコールも入って合の手や笑い声も加わり、にぎにぎしく和やかに進行した。(敬称略)



仏テロ犯人の逃亡先、パリ郊外に娘が在住。パリから緊張のメールに大変心配。先日送られた娘のマミーの写真です。(平野)

今年はゴルフに参加できるよう、年末年始からジョギングを開始。昨年のご心配かけましたが、元気になりました。(荻原)

私の言いたいことは、Hさんが全部話してくれました。今年もよろしく。(加藤豊)

正月に加藤さん宅で全国大会のDVDを観賞。一つにまとまっていた成功は素晴らしい。二人でおいしいお酒を頂きました。(岩城)

ボランティア3年、海外に向け頑張り感謝され自分の成長も実感。皆さんを巻き込んで一緒にやっていきたい。(岡)

昨年の総会、どのクラブからも賞賛や羨望の言葉を頂きました。今年もコンビの青木さんと全国を回っていききたい。(森山)

1月で満80歳、でも気分は60歳。今年の目標はゴルフのエイジシュート。シニアのティグランドを使えるので可能です。(青木)

特筆すべき全国大会の成功。プロバスを設立する時には、想像もできなかった。立派になったことに感謝します。(松田)

今年満90歳です。本格的な景気回復や財政再建の年、当倶楽部15周年記念の年でもありません。今年もよろしく。(乙幡)

次ページへ続く

今年喜寿です。干支の有名人やニュースなど紹介。羊は群れを成す所以で家族の安泰、末永い平和を表すそうです。(大久保)

正月は神社仏閣に行くのではなく、箱根駅伝の応援に大声を張上げていました。今年もよろしく。(岡部)

入会して今日で例会4回目。よく3日3月3年と言いますが、まず3年は居ますので、皆さんと楽しんでいきます。(神谷)

昨年暮れ身内に不幸があったので年末年始は大変だった。今年はプロバスの仲間と和やかに楽しく過ごしていきたい。(松下)

2年連続の喪中の正月で、酒を飲んで過ごした。今年の目標は、趣味の日曜大工で庭に6畳程のログハウスを造りたい。(須藤)

妻が健康を損ね、昨年9月から私が家事を担当。早く回復して、私も10日に一回位は帰宅時間を気にしないでいたい。(保谷)

バスの中で中学生から席を譲られ、断った。その学生は凄く恥ずかしかったと思う。猛省！今年から直ぐ座ります。(関口)



飛翔 (横浜港施設見学会から)

仲間の存在はこれからの社会のキーワードの一つ。楽しいプロバスはその典型です。全国に仲間を増やして頂きたい。(宮川)

昨年暮れ母を亡くした。めでたいことに本日、NPO法人設立承認を市からやっと頂けた。事務局長として頑張ります。(高橋)

70歳の新年です。男性の平均寿命80歳、健康寿命70歳。自分の年齢を自覚し、元気な諸先輩を見習って活動します。(樋口)

会員委員長として自分なりに頑張ります。不明な点は皆さんの協力を頂きながら、今年も走っていきますのでよろしく。(加藤道)

6回目の年男。田舎の家にカラオケセットが入った。家を基点に同好会のゴルフとコバンザメ一緒に楽しみましょう。(富水)

例年通り12月、冬至の日に占いをした。社会情勢には変化なし。株式の卦は吉だが、己の行いによって善し悪しがあります。(關)

大会の忘れ物(仙台O氏の帽子)が仙台に行く私に託され、ホテルで渡した。そのO氏から、会場でピアノ演奏した青年をロータリーで招く方法を尋ねられた。今日、松田さんから伺ってO氏へ連絡したい。このように全国大会を横浜開催したことで、色々な繋がりが出てくる。プロバスクラブは繋がりと絆の役割を持っている。今113のクラブを少しづつでも増やすことが社会貢献に繋がり、やがて世界大会を開ける様な素地を作りたいと思っています。15周年の議題の一つとして考えて頂きたい。(中村)

暮れに年賀状を書かなかったのは20年ぶり。今作成中だが、お世話になったプロバスの皆さんには何とか出しました。(小磯)

新春1月理事会 13名出席 (平成27年1月16日進行会館)

- \*15周年記念事業提案・・・泊旅行を移動例会と兼ねて行う。行先・日程検討。事業に、カンボジアへ放置自転車を送る活動を加えたいが? \*例会会場変更確認・・・相生会館が3月閉鎖。進交会館に仮予約の検討依頼中。 \*会員加入承認・・・須藤氏が鈴木武道氏を推薦。全員一致で承認。
- \*プロバス通信確認・・・印刷経費節約の為、紙ベース又はPDF、選択を。 \*事務局確認・・・全国総会収支を2月例会で報告する。現会員数34名。会員の加藤義一氏を6月総会で名誉会員に推薦を。

## 昨年(10月・11月・12月)の例会・理事会要旨を掲載

### 10月例会 (第154回 23名出席)

関幹事が開会の辞 (10月10日 進交会館)

**会員紹介等** ① 体調を崩し、会合を欠席していた荻原氏が元気な姿を見せ挨拶した。 ② 新会員の神谷恒夫氏が紹介され、プロバスバッジの授与があった。



(荻原氏) (神谷氏)

**誕生日祝い品贈呈** 該当者欠席の為、自宅への発送も含めて検討。

**委員の指名** 会長が指名した社会奉仕委員会メンバー(9人)を幹事が報告した。

加藤(豊)(委員長)、宮川(副委員長)、岩城、加藤(道子)、須藤、東野、富永、樋口、保谷(敬称略)

**会務報告** (1)各委員会報告 例会委員会から、10月30日に横浜港湾施設をバス及びマリンシャトルで陸と海から見学するツアーについて説明。会員委員会から、新会員へのエールがあった。情報委員会から、プロバス通信No.14を配布。ホームページの更新がなされていないとの指摘があった。岩田、関口両氏から情報の提供があれば更新するとの申し出があり、今後情報委員会を中心に各会員も二人に掲載情報を送信していく。(2)理事会協議等報告を幹事から、\*誕生日の祝い品を受ける方が欠席した場合、次回例会で渡すことになるが、そこも欠席の際は自宅に発送する。\*ゲストとビジターの費用負担区分について、ビジターの時は原則費用負担とする。\*会員放談等について、11・12・1月は行事が立て込んでいたので飛ばして、2月の担当を須藤氏、3月は宮川氏の紹介者とする。

**同好会活動報告** 参遊会会長から、同好会が7つもあるので合併等で減らそうと言う話があったが、皆の意見で変更しなかった。次に、にこにこサロンを改組しにこにこパンザメとして、より他同好会との懇親を深めることとした。旅行会 年内は計画なし。ゴルフOB会 横須賀、鎌倉と合同で交流コンペを11月10日に実施。パソコン同好会 次回は10月15日。会の成果の一つとして、プロバスクラブ内のメールの普及率が50%から75%に向上した。こうした事例を紹介したいとの申し出があったので、出版されたら報告する。釣り同好会 日帰り温泉を考えている。カラオケ同好会・・・今日は全日本の打ち合わせがあるので中止。

10月理事会 15名出席 (平成26年10月17日進交会館)

- \*15周年記念検討委員を指名・・・関幹事を中心に 関口、富永、樋口、平野、松下(尚)、宮川の各氏。
- \*社会奉仕委員の役割確認・・・委員は奉仕の内容、方法や他プロバスの実態を調べるなど検討。
- \*横濱プロバス倶楽部ホームページ更新の確認・・・(岩田副幹事説明) ホームページの更新作業は自分が骨格部分を、関口氏が会員情報を担当する。情報更新の要望があればアップしていく。
- \*ブルゾン作成承認・・・(松下参遊会会長説明) 15周年記念事業の一つとして、横濱プロバス倶楽部のブルゾンを作成し、今後の活動にメンバー全員が着用していく。横浜なので色はブルー、2か所プリント(胸にマーク、背中に横濱プロバスと白抜き表示)、業者発注を了承、作成枚数50枚、今後の加入会員配布分も確保。なお、色合いやデザインは松下、岩田両氏に検討を依頼。

## 11月例会

(第155回 29名参加)

(11月14日 相生会館)

**会長挨拶** 平成26年11月11日午前11時に北九州プロバス倶楽部の創立15周年記念があり、全日本の森山幹事長と一緒に祝いをしてきた。私どもも来年が15周年なので考えて行かなければならないが、その前に青木実行委員長が頑張っている全国大会を盛り上げ成功させるため、皆さんよろしく。

**プロバスバッジ授与** 平岡英夫 (都合により代理人に授与)

**誕生月お祝い品贈呈** 11月誕生 森山功 富永和男 神谷恒夫 加藤道子 (前回・前々回欠席者)  
10月誕生 中村實 小西観佑 9月誕生 加藤義一 (敬称略)

**加藤義一氏挨拶** 今年9月末で93歳なので、11月の全国大会後に退会したいと考えている。私が会長の頃会員は20人前後だったが、亡くなった加藤武氏をかわきりに会員を増やされた。またクラブ活動が盛んになっている。自転車をカンボジャに寄付している。プロバス精神・奉仕の精神の面からも、この会も立派になったことを見届けたので、ありがとうございます。(関幹事から、現在検討中の会則改正の中で、新設の名誉会員の第一号に推薦したいので、来年総会の6月までお願いしたい。)(加藤氏)



**会務報告** (1)各委員会報告 例会委員会から 10月30日港湾施設見学ツアーに16名が参加した。ガイド付のバスで横浜港ふ頭見学、船での港内一周と参加者全員が大いに楽しんだ。 会員委員会(松下参遊会会長)から イベントブルゾンの色合い、プロバスマークや文字のプリント、業者の選定等作製の過程について説明。全国大会には忘れず着用することと、名前など識別の印を付けるよう注意があった。なお、これは15周年記念事業の一環で作製(例会開始の前、ブルゾンを参加者に配布 寸法—M・LL・XLから選択) 情報委員会(岩田副幹事)から メーリングは会員への一斉配信なので、これを利用すると個人宛てのつもりでも全員に行ってしまうので注意を。横濱プロバスメール・プロバスメーリング等アドレス一覧を配布。(2)理事会協議及び決定事項を幹事報告 \*会長指示の15周年記念事業の実行委員会メンバーを選定した。15周年事業で早速ブルゾン作製といいものが出来た。さらに来年の15周年に向けて考えて行きたい。(3)同好会活動報告 にこにこコバンザメ、あるこう会、旅行会、釣り同好会は特になし。ゴルフ同好会 11月10日葉山カントリーで横須賀、鎌倉プロバスと交流した。カラオケ同好会、パソコン同好会は大会準備のため中止。12月からは実施する。

**全日本プロバス協議会 第6回横浜大会について** 青木実行委員長から、この1年間森山幹事長と全国を回ってきた。30数倶楽部と話しをして横浜の魅力と資金難を訴えてきたが、賛助金も参加者も集ってきた。いよいよ大会開催まで秒読みに入ってきたので、是非もうひと踏ん張りよろしくお願ひしたい。

### 11月理事会

13名出席

(平成26年11月21日 進交会館)

- \*クリスマス特別例会の運営方法(プレゼント交換)確認・誕生会の贈呈品の残品がある。一人一点以上を持ち寄る。場所は進交会館。会費2千円。今回は1時開始(会館確認済み)
- \*プロバス通信の発信方法確認・メールで出すことが今後の主流。ペーパーは経費もかかる。ドメインはとれているので、他プロバス等への配信はできる。今後岩田副幹事に相談しながら取り組んでいく。
- \*全日本プロバス協議会 総会等の準備確認・これからの名札整理、総会資料等の準備や懇親会会場の飲み物や土産等の取扱いについて青木実行委員長から説明。

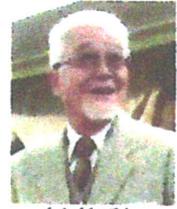
## 12月例会・年忘れクリスマス特別例会 (第156回 24名参加)

(12月12日 進交会館)

**会長挨拶** 全日本のプロバス大会があのように盛大だったのは、皆さんの尽力のお蔭です。来年再来年、どのようなプロバス活動行われるかは、今後皆さんの考えと実行力によるところだと思います。本日は盛り上げるため、いろいろ趣向を考えているのでよろしく。

**ゲスト紹介** 山手ロータリー 小笠氏 小笠薬局オフィスを太田町に構えています。

**誕生月お祝い品贈呈** (5名該当) 荻原信吾、加藤豊、(以下欠席) 岡部正久、池田武文、平岡英夫の各氏 (荻原、加藤両氏が謝辞を兼ねて一口スピーチを行った。)



(小笠氏)

**会務報告** (1) 各委員会報告 例会委員会から、本日の年忘れクリスマス特別例会期待を。会員委員会から、女性会員を増やすため、男性メンバーも努力を。

**同好会活動報告** ゴルフOB会 3月に県内6チームと相模原のゴルフ場で計画。青木氏が神奈川プロバス協議会としてトロフィを提供する。5~6月頃ゴルフ、足利(富永氏別宅)一泊で検討。ここにココパンザメの共催も。カラオケ同好会 本日開催 1月も予定する。パソコン同好会 12月16日(火)神奈川労働プラザ13:~16: 釣り同好会 今月数人で釣りの下見を検討。

**事務局報告** 小磯事務局から、横浜大会の収支は予定内で収まる見込みなので、追加徴収は生じない。

**プロバス協議会総会を終えて** 青木実行委員長から、皆さんには大変お世話になった。翌日お礼の電話も多く、うまくいったのかなと思う。ありがとうございました。

### クリスマスプレゼント交換及び懇談会 (13時45分~2時間)

森山氏の乾杯の発声で懇親会の幕が上がった。めいめいが十分用意された飲食物をとりながら、プロバス全国大会の記録画面を見たり、談笑したり、岩城さん提供の縁起菓子のつかみ取りなど。盛り上がったところで、各々が持ち寄った贈り物の交換会を行った。一人ひとりが番号くじでプレゼントを引き当てた。ところが今年は一人数人で数個持参したメンバー(松田、青木、松下、中村各氏)のお蔭で、再度全員にプレゼントが行き渡るようになった。全員童心に還って大喜びだった。(都合で欠席の平山、平岡両氏から、参加者全員に素敵なプレゼントをいただきました。ありがとうございました。)



### 12月理事会

出席者 14名

(平成12月19日 進交会館)

- \* 2015年賀詞交歓会の進め方について確認・・会員近況報告は一人のスピーチ時間2分以内で。
- \* 規約改正(案)訂正の承認・・規約(案)第10条の特別会員の項目を削除。改正規約は総会で承認前だが作成予定の新名簿に掲載したい。
- \* 退会希望者の退会承認・・退会希望者の各々の事情を斟酌して、12月19日、本日の理事会で退会を承認。退会の皆さんの永年の貢献に対して、理事会の決定と合わせ感謝の意を会員委員長から手紙で伝える。
- \* 特別放談の依頼・・来年3月13日例会の放談は、宮川氏紹介の篤信彦氏に依頼。

## 横浜港施設見学会 (10月移動例会)

(平成26年10月30日 参加人員16名)

当倶楽部はこのたび(一般社団法人)横浜港湾振興協会主催の横浜港見学会に申し込み、海から横浜港の全容と大黒ふ頭のコンテナターミナルを見学する機会に恵まれた。

天高く青空が広がる中、午後12時45分に関内駅前からマイクロバスで出発。20分間、横浜ベイブリッジや高架道から眼下に広がる港の全景やヤードを埋め尽くす輸出入乗用車・トラック

(平成25年の自動車輸出台数は約71万台で全国第3位の取扱量)を眺め、熱のこもったポートガイドさんからの案内を聞きながら、大黒ふ頭へ向かった。ガイドから横浜港では、1年間に約11,000隻もの船が外国との間を行き来し、また特に横浜市内で働く人たちの約30%が何らかの形で港に関係していると聞いて、その影響力にビックリしているうちに、ふ頭に到着した。

大黒ふ頭は増大する貨物・コンテナ貨物に対応するため平成2年に完成(322ha)。

目の前にコンテナやガントリークレーンが広がる郵船コンテナターミナル5階会議室で、ふ頭のビデオ鑑賞と説明を受けた。横浜港には、船が停泊したり、貨物の積み下ろしや保管ができる「ふ頭」が10ヶ所あり、そのなかで3ヶ所(大黒ふ頭・本牧ふ頭・南本牧ふ頭)にコンテナターミナルが整備されている。大黒ふ頭は、コンテナに加え輸出入自動車の一大拠点、倉庫など様々な物流施設が立地する島式のふ頭であり、北米(東岸・西岸)、南米、豪州、中国、東南アジア航路などが就航し、平成25年のコンテナ取扱数は、約46万TEU(20フィートコンテナ L.6m W 2.4m H2.6m 換算)で、横浜港全体の約15%を占めている。説明後会議室から、ゴム製のタイヤが付いたトランスファークレーンからハウストレーラーへのコンテナ積みおろしなどを見学した。続いて、荷捌きからの保管、流通加

工、配送までを一貫して行うことができる、国内最大級の総合物流施設の横浜港国際流通センター屋上にバスで移動し、活気あふれるふ頭全体を見渡した。また、ふ頭内の大黒海釣り施設には、釣り人がゴマ粒のように並んで見えた。

次に、マリンシャトル(764t、定員541名)乗船のため、再びバスでベイブリッジを通過して山下公園へ。午後3時30分乗船、横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋、大黒大橋の下を回遊する1時間の見学コース。乗船客も少なく全員3階のオープンデッキに集まり、ふ頭の林立するガントリークレーンや倉庫群、みなとみらい21地区のビル群や赤レンガ倉庫など、潮風を感じながら横浜港の海からのパノラマビューを体験して参加者全員大満足だった。

横浜港に親しみ理解を深める日となりました。



### 15周年記念事業でブルゾン作製

来年1月30日に横浜プロバス結成15周年の節目を迎えるので、記念事業第一弾として、イベント時着用するお揃いのブルゾンを作製した。松下、岩田両氏提案による、マリンブルー地に、左胸にプロバスマーク、背中に横浜プロバスの文字がプリントされたブルゾン。11月例会で配られたが、評判は上々、全員笑顔で袖を通していった。



(前)



(後)

横濱プロバス倶楽部の全会員が一致団結して取り組んだ全国大会は、成功裡に終わりました。皆さん本当にご苦労様でした。

第6回全日本プロバス協議会総会 (横浜大会) 要旨

開催日：平成26年11月23日(日)  
総会：神奈川県民ホール(午後1時～午後3時40分)  
懇親会：萬珍楼(午後5時～午後7時30分)  
スローガン

楽しくなければプロバスではない  
2020にはプロバス世界大会を

(総会に先立ち11時から理事会が開催され、総会提案内容等について決定。)



(各クラブから参加の皆さん)

第6回総会 (開会13:00)

県民ホール小ホールの隣の大ホールでは、宝塚100周年記念公演と重なり、待合ロビーは大変混雑。当日は暖かい陽気で13時の受け付け開始から、各クラブの皆さん連れだって、名札や総会資料を受け取っていた。

日テレの元アナウンサー大類氏の司会で開会。

1、まず、開会の辞を副会長の野村浩司氏から頂いた。

全日本プロバス協議会総会は第6回目で初めて関東での開催となり、プロバスそのものも更に大きくひろがり発展することを希望します。思い返せば第1回協議会総会は大阪でした。年々、プロバスに対する理解や皆さんの愛情の深まりにより、これだけ進歩してきました。将来的に全国津々浦々までプロバスが生まれ、交流が活発になることを祈っています。ちなみに、オーストラリア、ニュージーランドなどにはプロビアンが30万人以上もおり、クラブも増えています。ですから日本においても、将来的にどんどん増えていくものと期待しています。



今後、新しいクラブ設立の為、各地域からご参加の会員の皆さんやロータリアンの方々のご尽力をお願いします。

2、次に平成25年11月6日急逝した加藤武氏(前日本プロバス協議会会長)はじめ、この2年の間にお亡くなりになった方々に対して全員で黙祷。

3、この度の総会実行委員長、当倶楽部青木常任理事から歓迎の挨拶

このたびは240名の皆さんにご出席いただきありがとうございます。今回の大会には遠くは北海道、九州からおいで頂きました。全日本プロバスを前進させようと頑張っていた加藤武氏が道半ばで



急逝された後を継いで、私と森山幹事長とで30数ヶ所のクラブにお邪魔して皆さんにお会いして来ました。北海道の旭川クラブ、石川の松任クラブ、新潟甚句を踊った新潟クラブ、三重では5クラブの皆さんと。各倶楽部とも素晴らしい例会や交流会等に熱心に取り組まれています。皆さん大変お世話になりました。

プロバスは全国に113クラブありますが、全日本協議会には60クラブしか入っていないプロバスクラブと名乗るクラブにも、全国の情報を発信していきます。

(次頁に続く)

なお、総会後は年間約2,300万人が訪れる世界一のチャイナタウン、横浜中華街を散策していただくことになります。懇親会場萬珍楼の開宴時間は5時ですのでよろしく。

横濱プロバス倶楽部は皆さまを心よりお迎え申し上げて歓迎の挨拶といたします。

#### ・来賓祝辞

国際ロータリー第2590地区を代表して高名明氏から祝辞をいただいた。

皆様においては、かつて培った専門、実業の経験を生かし、地域社会活動の奉仕を通して親交を深め活動していることは大変素晴らしいことです。



ロータリーはプロバスクラブの皆様方とも親交を深めて、今後とも支援をさせて頂く考えですのでよろしくお願い致します。

ある詩に、「花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根、根っこは見えねえんだよなあ。」と言うのがあります。大事なところは目に見えないものだど・・・。是非、一人一人がそうした気持ちになり、少しでも世の中が良くなるように願って、私どもロータリークラブと共に歩んでいただければと思います。

続いて、横濱プロバス倶楽部の礎を創っていただいた横浜山手ロータリークラブの会長近藤眞江氏から祝辞をいただいた。

横濱プロバス倶楽部は、

山手ロータリーの10周年の記念行事として、設立しました。一貫して支援してきましたが、こんなに大きく立派に



成長してくださっているとは思わず、今回のことで山手の仲間も皆びっくり。

これも全国プロバスクラブの皆様のご協力があつてのことと大変喜んでます。

横濱プロバス倶楽部はお互いの信頼の下、明るく活動的に運営されており、楽しんで各メンバーの姿を嬉しく思っています。

本日は全国のプロバスクラブの皆様のご参加に大変感謝申し上げます。

・急逝された加藤前会長のお嬢さんを客席から紹介

#### ・祝電の一部紹介

内閣官房長官菅氏、横浜市長林文子氏からの祝電披露

### 総会議事

#### ・会長挨拶

立川富美代会長代行

113あるクラブの中で全日本に登録は60クラブ、その中で今日は30クラブ総勢240名の方がご出席いただき本当にありがとうございます。



プロバス活動の根幹の一つの親睦は、各クラブ、各ブロック、各地区様々な交流が行われ、全国津々浦々で集う姿が見られるようになり、更にその輪が拡大することを期待しています。

先程ロータリークラブの高名様から、今後ともプロバスクラブの設立に力を寄せて下さるとの力強いお言葉もいただきました。平成26年度、奈良と横浜グリーンと2クラブが創設されています。

全日本プロバス協議会の一番大きな問題は、経営面です。年間3,000円の会費で何ができるのか、が課題となっています。

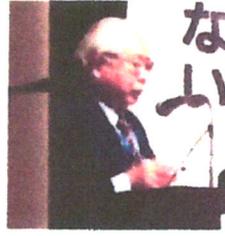
私は退任いたしますが、皆様にご支援頂いたことにお礼申し上げます。

議 事 立川会長代行を議長に選出

(第1、3、4、5、6号議案は森山幹事長、  
第2号議案は小磯会計幹事説明)



森山幹事長



小磯会計幹事

- 第1号議案 平成24年度及び25年度の事業報告
- 第2号議案 平成24年度及び25年度の収支決算報告並びに改正監査報告  
(高野会計監査から適正であったとの報告)
- 第3号議案 平成26年度及び27年度事業計画
- 第4号議案 平成26年度及び27年度予算案
- 第5号議案 会則改正  
(第4条改正の意見については、議長預かりの上、理事会に諮り報告する。)
- 第6号議案 役員改選

以上承認

(会長以下新役員の紹介・起立一礼)



(熱心な議論が交わされました。)

新会長に対して、議長から会長席に着いて新クラブ紹介をするよう発言があった。



平成25年加藤前会長が突然亡くなられて、その後を会長代行として立川さんが様々な問題を処理してこられました。そして私が加藤氏の後を継いだ

形で横浜選出の全日本の会長となりました。私はプロビアンとして十分な体験も知識もありませんが、皆様方のご支援をいただき、プロバス協議会そして日本全体のプロバスクラブがますます発展する為、私がお受けして、それぞれのところに企画、提案あるいは処理をしますのでお力添えをお願いしたい。

それでは新クラブの紹介をします。

今年の3月 古都奈良に誕生した奈良プロバスクラブ、9月 横浜の西北部に誕生した横浜グリーンプロバスクラブ

(新クラブメンバーは席で起立)

現在、仙台にプロバスクラブが誕生しようとしており、本日2クラブの方が会場にお出でになっているので紹介します。早く設立されることを楽しみにしています。

(総会終了 14:50)

ご苦労様でした

(受付)



当倶楽部会員は、お揃いのライトブルーのブルゾンを着用して、主要駅(関内・日本大通り)案内、会場の受付、設営、整理等に取り組みました。

## アトラクション (15:05)

まず、当倶楽部会員の平山秀樹氏の司会で、出演者のバイオリニスト、ピアニスト及び会員の平岡英夫氏が紹介された。

ピアノとバイオリンの伴奏による平山、平岡両氏のデュエット、平山氏の独唱、会場全体に響き渡る歌声を堪能した。また、プロの奏でるバイオリンの優雅な音色に聞きほれた。

次に、大類氏の司会でピアノ演奏をする古西夜香さんが紹介された。古西さんは視覚と下肢の重度障害者で、演奏の際はペダルを膝で押さえることのできる器具を設置し、ビートルズやダイアナロス等のナンバーを披露した。

テンポよく流れるような演奏は、聴衆の心をつかみ満場の拍手であった。また厳しいハンデを克服している19歳の若者の姿に私達は感動した。(出演者はボランティア)

最後に、会場全員が起立し「ふるさと」を合唱。



(アトラクション終了 15:40)

懇親会場へ移動

## 懇親会 (17:00開宴)

会場：中華街「萬珍楼」



当倶楽部会員の岩城孝子氏の司会で開宴し、最初に全日本プロバス協議会

中村實新会長が、240人 (司会 岩城氏)

(2階200人、3階40人)の参加者に歓迎の辞を述べ、青木実行委員長が中華街の話などをしながら、萬珍楼林社長を紹介。社長の挨拶のあと、当倶楽部の最高齢会員 加藤



義一氏(93歳 元会長)を紹介。かくしゃくとした挨拶に一同敬服の体であった。

(加藤氏)



乾杯は次回の第7回総会担当の北九州プロバスクラブ会長(全日本プロバス協議会副会長)古賀靖子氏が行い、各メンバーは中華料理や

(古賀氏)

紹興酒を摂りながら、参加クラブの紹介など懇親を深めた。

2階では、加藤義一氏のリクエストで「百万本のバラ」を女性会員が歌い、3階では、平山、平岡会員の歌声に、両会場が大変な盛り上がりでした。



(会場風景)

閉会の言葉は当倶楽部 小磯副会長  
(お開き 19:30)